古くから現在まで人気の高い花。

＜植物名＞

ペラルゴニウム

白

水やり

土の表面が乾いたらたっぷり水やりをする。

置き場所

日当たりの良いところに置く。

用土肥料

緩効性肥料または液肥を与える。

植え替え

毎年4～5月に必ず植え替える。

ふやし方

挿し木、種まき

冬越し

南側の軒下でも越冬できるが、零下になる地域では明るい室内にとりこむ。

使い方　鉢植え、花壇

学名	Pelargonium
英名	geranium, storksbill
属名	テンジクアオイ
科名	フウロソウ
性状（分類）	多年草、常緑性
原産地	南アフリカ
花の色	白
開花期	春、夏
購入時期	
草丈	20～100 cm

ID　487

季節　春、夏　　JFコード　42738

冬越しと置き場所

日当たりの良いところに置く。乾燥に強く、高温多湿に弱い。雨のかからない軒下などに置くと良い。真夏はなるべく涼しいところに置き、冬は、南側の軒下でも越冬する。ただし、零下になる地域では明るい室内にとりこむ。

その他の解説

緩効性肥料を月に1回か、液肥を10日に1回与える。根詰りを起こすと花立ちが悪くなるので、毎年4～5月に必ず植え替える。

特徴１

ゼラニウムよりも花が大きく華やか。土の表面が乾いたらたっぷり水やりをする。土はできるだけ水はけのよいものにする。高温多湿を嫌うため、春から梅雨入りまでと秋には十分水をやり、梅雨入り後から盛夏はやや控えめに水やりをする。

特徴2

改良に用いられた原種により、四季咲き性種をゼラニウム、一季咲き性種をペラルゴニウムと園芸上呼んでいる。ゼラニウムよりも品種数は少ないが、花が大きく華やかで、花弁に斑の入るものが多い。花色も豊富で、挿し木などで簡単にふやすことができるので、古くから現在まで人気が高い。